

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	赤 井 瞳 美	<p>1. 登下校の安全を守ろう！</p> <p>2. より良い子育て支援策をみんなで考えよう！</p>	<p>令和元年に「悪天候の日、八雲小学校への送迎の車が非常に危険。事故になる前にPTAや警察と一緒に対応策を！」と大久保議員が一般質問をし、その時の教育長は、「すべての中学校の状況を調査した結果、それぞれの送迎についてのルール作りは出来ている。八雲小学校の近辺は一番危険度が高いので、警察にも協力をお願いし、最終的にはPTAを通じしっかりと理解促進を図りながら、新たなルール作り等に向けて協議していくたいと考えている。」との答弁でした。</p> <p>その後実際に保護者にも注意喚起がなされ、時々役場の駐車場に停めている車があると「ここに停めたらダメなのに！」という言葉が生徒からも出るくらい徹底されていたようです。</p> <p>あれから6年、今、登下校のルールはどのようにになっているでしょうか？最近、悪天候の朝の役場駐車場で非常に危険な状況を目にし、いつ事故が起きてもおかしくないと恐怖を感じました。もちろん、学校も教育委員会も対策は講じていると思いますが、子ども達の命を守るために、更なる工夫が必要だと思いますが、いかがでしょうか？</p> <p>2017年の文厚委員会では、保護者の方や子育てサークルの皆様との話し合いとアンケート調査を行い、8項目の子育て提言を行いました。町の決断と国の子育て支援も重なり、8項目中5項目が実現され、子育てしやすくなったという声をたくさん聞いています。</p> <p>しかし、それでも日本の少子化は加速しています。町長は6つの提言の中の一つに「安心して子育てできるまち」を掲げていますが、その内容と実現のため、是非、子育て世代の皆様、これから子育てに入る世代の皆さんと十分な話し合いを重ね、持続可能な対策を行ってほしいと思います。</p> <p>行政から見た八雲町における子育ての課題、子育て世代が望む子育て環境、そして何よりも、子どもを産み育てたいと思える八雲町となるために必要な対策を町民みんなで考え、町民みんなで実現できる仕組みが必要だと思います。</p> <p>そんな仕組みづくりについて町長の考え方をうかがう。</p>	教育長  町長

# 令和 7 年 第 4 回定例会一般質問

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	三澤 公雄	<p>1. 「出産祝い金」について</p> <p>産んでもらいたいなら「出産祝い金」という事業ではないのではないか。“暮らすことを選んだ町”に『産む前後の環境』が整っているかどうかの問題じゃないだろうか？ワーク・ライフ・バランスという語句のライフの中には、無償労働という家事ワークが有り、そのほとんどは女性が担っているのが日本社会の現状であり、八雲町の現状でしょう。ここを放っておいて『出産祝い金』で解決を目指すのは…予算の無駄遣いではなかろうか？</p> <p>町長の考えているこの『重点政策』の根拠を伺い、議論したい。</p> <p>2. 稲作主体地域に“核”となる法人を作ろう</p> <p>酪農の分野では“担い手づくり”という課題解決の為に「青年舎」を設立したが、「地域づくりの視点」を盛り込むことができなかった。</p> <p>しかし、八雲町の稲作主体地域では、まだまだ「この地域をなんとかしたい！」という熱い想いが脈々と流れている。</p> <p>なので、青年舎設立時の反省に立って、「地域づくりの視点」「農地を守る視点」を大切にして、法人を愛知県農業振興基金が発案し、すでに全国でも優良事例をいくつも輩出している『地域まるっと中間管理方式』で地域の様々な農家（担い手、出し手、自作希望…）の想いを「地域の守るべき農地を地域のみんなで守る」で集約し、法人設立までの役割を町に期待したいが、如何か？</p>	町 長	

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	寺 田 広 樹	1. 高齢者等除雪費助成制度の拡充について	八雲町は、道南でも特に雪が多い地域です。近年は水分量が多く、重たい雪が降る日も増え、町で除雪した後の残された雪の除雪さえ高齢者にとっては重労働です。 ましてや屋根の雪下ろしというと危険も重なり、なかなか手がつけられません。 今後は、町の高齢者等除雪費助成制度において屋根の除排雪も助成適用範囲とし、これに限って、利用対象者条件を緩和できないのか。 また、併せて除雪作業員の安定した確保と増員も同時に考えていく必要があります。 基盤が出来上がるまで大変ですが、これは将来的に強化すべき事業だと思い、考えをうかがう。	町 長

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	黒島 竹満	<p>1. 地域医療について</p> <p>通告に従い地域医療について質問を致します。</p> <p>町長は、今年10月の町長選の政策として「町民主体の町づくり」と、また「あなたの声が反映されます町へ『町民視点』のまちづくりを進めます」を掲げておりますが、その政策の中で地域医療の充実とあります。今、八雲町として一番の課題と思いますのは八雲総合病院と熊石国保病院の厳しい経営状況だと思います。</p> <p>① 八雲総合病院と熊石国保病院の安定的な経営 病院の設置者として今後どのように考えていくのかをお聞かせください。 また、病院経営管理と施設管理を行っております。病院長並びに事務長の今後の考えもお聞かせください。</p> <p>② 常勤医師の確保(各大学病院への要請)、医療従事者の確保対策 病院の設置者として今後どのように考えていくのかをお聞かせください。 また、病院経営管理と施設管理を行っております。病院長並びに事務長の今後の考えもお聞かせください。</p> <p>2. 漁業振興対策について</p> <p>① ホタテ付着物、水産加工残渣など廃棄物処理への財政支援 現在、残っている滯留物について町の汚泥処理、生ごみの処理について財政支援をどのように考えておりますかお聞かせください。</p> <p>② ナマコ種苗放流・コンブ養殖の推進について なまこ資源増大事業について、コンブ資源拡大とコンブ礁アルガリーフの洗浄について、新年度に向けた計画はどのように考えておりますか、お聞かせください。</p> <p>③ 海業の取り組み(レストラン・直売支援) 支援の取り組みについて今後どのように考えておりますか、お聞かせください。</p> <p>④ ホタテ養殖、漁船漁業経営安定対策の検討(融資、助成など) 新年度の対策についてお聞かせください。</p>	町 長	

⑤ 落部漁業協同組合青年部がナマコの種苗を作り、研究に成功をしていたが、生育中、海水温度の上昇により全滅したと聞いた。

青年部が新しい種苗作りに挑戦しているが、今後、温度管理ができる冷水機設備などを町として支援できないでしょうか。

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	横田 喜世志	<p>1. 物価高騰対策について</p> <p>プレミアム商品券が発行される事が諮られたとき、消費拡大対策であって物価高騰対策ではないと指摘した。</p> <p>現在も物価は上がり続いている。最低賃金が引き上げられたが物価上昇に見合うものではない。</p> <p>11月29日の道新に補正予算決定と載っていた。その中で「生活の安全保障・物価高への対応」に8兆9,041億円の計上で、このうち、子育て応援手当に3,677億円、冬場の電気・ガス代支援に5,296億円などを充て、地方交付金を2兆円拡充した内容となっている。</p> <p>地方交付金で「おこめ券」の発行などに使えるようになるようだが、その運用は地方自治体に委ねられていて、八雲町はどのような施策を考えているか伺う。</p> <p>2. ウイスキー・サーモン・ワイン事業の今後の推進について</p> <p>10月9日の全員協議会の報告の中で、前町長は、現在、民設民営で進められている特定政策の「ウイスキー」事業と同様に、「サーモン種苗生産施設整備事業」について、公設民営方針を民設民営にシフトし展開していく方向にするとした。また、公設で進めるとしている「ワイン」事業も将来に向けて民設民営も視野に入れながら進める説明があった。</p> <p>新町長も後援会だよりに、町の現計画主要事業については、民設民営で進める事を基本とすることが記載されていたが、町長就任後の基本方針についての現在の考え方を伺う。</p>		町 長

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	関 口 正 博	1. 水産業の未来を築くための取り組みについて	<p>八雲町の水産業は、ホタテ養殖事業を中心に、四季を通じて多様な種類の漁業が営まれ、当町における重要な基幹産業として地域経済を支える基盤となっていました。またサーモン養殖事業については、持続可能な水産業の構築に向け、積極的な取り組みを続けています。</p> <p>しかし、漁業を取り巻く環境は、海洋環境の変化、漁獲量の減少、担い手不足、コスト増など多くの課題を抱え、年々その厳しさは増していくものであり、水産業の未来を築くための取り組みは、漁業者・自治体が一体となって知恵を絞り行動していくことが重要と考え、次の2点について質問いたします。</p> <p>1. 落部地域において、コンブ養殖事業の取り組みが一部の漁業者によって進められています。天然コンブの漁獲量は全道各地で大幅に減少しており、あらゆる地域でコンブ養殖の取り組みが進められているが、八雲町においてもコンブ養殖事業について、これまで以上に積極的に推進していくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>2. 八雲町の鮭の歴史は、明治時代より鮭のふ化事業が行われて以来130年にわたり受け継がれ、守り育てられてきた大切な水産資源ですが、近年は不漁が続きこれからも減少傾向にあります。当町における鮭の歴史を将来に繋ぐため、漁獲を自主規制するなどの取り組みを、漁業者との協議を通じ検討できないでしょうか。</p>	町 長

## 令和 7 年 第4回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
8	大久保 建一	1. 町民の声を聴く 機会をどのように設けるのか	萬谷町長は、選挙期間中から「町民主役の町づくり」をキャッチフレーズに、町民の声を聴き町政に活かしていくことを訴えてきました。 しかし、近くの声や大きな声、また自分が聞きたい声ほど聴こえ易いものです。 広く様々な声を聴いていくために、具体的にはどのような方法や頻度で実現していくと考えているのか、考えを伺う。	町 長